

平成28年

2月

No.101

地域医療連携室だより



Izumi Municipal Hospital
和泉市立病院

発行/和泉市立病院 地域医療連携室 (毎月1回発行)

電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331

FAX/直通 0725-41-2513



皮膚科よりのご案内



◆皮膚外科外来はじめました。

平素より大変お世話になっております。平成27年4月から皮膚科の常勤医が2名となり、皮膚疾患全般にわたり幅広く診察しております。また、入院が必要な重症薬疹、水泡症、带状疱疹や蜂窩織炎等も加療させていただいております。そのなかで、皮膚腫瘍や皮膚潰瘍の患者さんの相談も多いことから、平成27年11月から、大阪市立大学皮膚科より小澤講師をお招きして、毎週月曜に皮膚外科外来を開設しました。そのため、当院でも皮膚外科手術を行えるようになりました。

皮膚腫瘍には、まず、ダーモスコープと呼ばれる専用の拡大鏡を用います。ダーモスコピーにエコーゼリーをつけ、腫瘍を詳細に観察し、良性腫瘍か悪性腫瘍なのかを判断します。これで良悪性の鑑別ができなかった場合には、エコー、CT、MRIなどの画像検査、皮膚生検などの組織検査を行って診断をおこない、診断に応じて皮膚腫瘍切除術などの手術を施行します。良性腫瘍摘出術のみならず、入院が必要な皮膚悪性腫瘍切除術、植皮・皮弁形成術まで対応できるようになりました。しかし、しみ等に対する美容的加

療、高度な集学的治療（センチネルリンパ節生検、リンパ節廓清、化学療法、放射線治療など）が必要な皮膚悪性腫瘍、高度な形成手術を要する重症例については、大学病院等に紹介させていただいておりますのでご了承ください。

最近の健康ブームの影響もあり、メラノーマや皮膚の悪性腫瘍を心配されて皮膚科を受診される患者さんも増えてきております。今までは遠方の病院に紹介することも多く、患者さんにご迷惑をお掛けしておりましたが、総合病院の皮膚科として、皮膚外科手術もできるようになりました。今後も和泉市の医療に貢献できるように努力していきたいと思っております。些細なことでも構いませんので、お困りの症例がございましたら、ご紹介いただけると幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

皮膚科 部長
平田 央



病院の理念



- 1、患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
- 2、患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
- 3、新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
- 4、思いやりのある医療人の育成に努めます。

和泉市立榎尾中学校にて、がん教育の授業を行いました。

実施校：和泉市立榎尾中学校

日時：平成27年12月16日（水）

対象：3年生生徒57名

講師：和泉市立病院 総長 腫瘍内科 福岡 正博

目的：大阪府がん対策推進計画に基づき、次世代を担う子どもたちに対して、がんに関する正しい理解の普及のため、がんの病態や予防等に関する学習活動を推進します。がんについての基本的な知識や、たばこの健康影響をはじめ、食生活や運動といった生活習慣とがんの因果関係など、がんの予防につながる学習活動を推進することで、子どもの頃よりがんに対する関心を高め、生涯の健康に大切な知識や方法を身につけることを目的としています。

※この授業は、大阪府健康医療部・和泉市教育委員会が実施する「がん予防につながる学習活動の充実支援事業」として行われました。



福岡先生から「大学で授業はしていましたが、皆さんのような中学生の方に授業をするのは初めてで、とても緊張していますが、張り切っていますのでどうぞよろしくお願いします。」と生徒の皆さんに話し、授業が始まりました。

授業では質問を交えながら、「がんはどんな病気なのか」「がんの罹患率と死亡率」「治療法はどんなものがあるのか」「がんの予防法」「がん検診」などについてスライドを用いて分かりやすく話し、生徒の皆さんも熱心に聴き入っており、理解を深めて頂けたと思います。

“がん”と聞いてどんなイメージをもちますか？

- ・ 痛い
- ・ こわい病気
- ・ 治らない
- ・ 年寄りの病気
- ・ 自分にはあまり関係ない
- ・ 死亡原因の第1位
- ・ 早期に発見すれば治る
- ・ がんは予防できる



子どもへのがん教育に関する事業は全国で始められており、泉州地区では初の開催となりました。和泉市立病院では、今後もこの取り組みを和泉市内教育機関のご協力のもと推進していきたいと考えています。

生活習慣の改善でがんを予防しよう

がんの原因には、たばこや飲酒、食事など日常生活習慣が関係していることが明らかになっている。多くのがんは、生活習慣の改善で予防につながると考えられています。

出典：国立がん研究センター がん対策情報センター

がんの治療にはどんなものがあるの？

手術
がんを取り除きます。

放射線治療
放射線を用いて、がん細胞を死滅させる。

化学療法
抗がん剤などの薬を用いて、がん細胞の増殖をおさたり、死滅させたりする。

緩和ケア
がんに伴う体と心の痛みやつらさを和らげる。がんが診断された時から、緩和ケアを始めることが大切です。